

2020年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(春期・一般選抜) 問題

専門科目Ⅰ 東洋史 専攻分野

試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。

2020年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(春期・一般選抜) 問題

専門科目 I (東洋史 専攻分野)

I

以下の中国古典文 (A) (B) につき、(1) 貸与された赤鉛筆を用いて句読(、。)を切り、(2) 現代日本語または現代中国語に訳せ (赤鉛筆は句読を切るときのみ使用)。

(A)

時帝大弘
釋典將以易俗故祖深允言其事條以為都下佛寺五百
餘所第極宏麗僧尼十餘萬資產豐沃所在郡縣不可勝
言道人又有白徒尼則皆鬻養女皆貴人籍天下戶口
幾亡其半而僧尼多非法養女皆服羅綺其蠹俗傷法抑
南史列傳六十 廿五 苑右
由於此請精加檢括若無道行四十已下皆使還俗附農
罷白徒養女聽畜奴婢唯著青布衣僧尼皆令蔬食如
此則法興俗盛國富人殷不然恐方來處處成寺家家剃
落尺土一人非復國有

(『南史』循吏・郭祖深伝より)

受験記号番号

$$\frac{2}{5}$$
This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

(B)

朕自四十五年來

一切情偽無不洞矚今臨御之後思移風易

俗躋斯世於熙皞之盛故兼聽竝觀周諏博

採以詳悉世務且熟察風俗之變易與否而

無知小人輒議朕爲煩苛瑣細有云人君不

當親庶務者信若斯言則皋陶之陳謨何以

云一日二日萬幾孔子之贊舜何以云好問

好察此皆朋黨之錮習未去畏人君之英察

而欲蒙蔽耳目以自便其好惡之私焉耳朕

在藩邸時坦易光明不樹私恩小惠與滿漢

臣工素無交與有欲往來門下者嚴加拒絕

聖祖鑒朕居心行事公正無私故令續承大統

今之好爲朋黨者不過冀其攀援扶植緩急

可恃而不知其無益也徒自逆天悖義以陷

於誅絕之罪亦甚可憫矣朕願滿漢文武大

小諸臣合爲一心共竭忠悃與君同其好惡

之公恪遵大易論語之明訓而盡去其朋比

黨援之積習庶肅然有以凜尊卑之分歡然

有以洽上下之情虞廷賡歌颺拜明良喜起

之休風豈不再見於今日哉

(『大清世宗憲皇帝實錄』卷三二、雍正二年七月丁巳の条より)

受験記号番号

$$\frac{4}{5}$$

II

(1) ～ (5) につき、知る所を簡潔に述べよ。(日本語で述べよ。)

(1) 商鞅

(2) 永嘉の乱

(3) 開通元宝

(4) 衙前

(5) 内閣大学士